

伝える力とリーダーシップ ～環境と災害～



ガールスカウト岡山県連盟

ねらいとした テーマ

- ・環境問題について知り、自分に何ができるか考える
- ・環境問題から起こりうる災害について知り、どのような備えが必要か考える
- ・災害発生時のファーストアクションや、他者のためにできることを体験を通して必要なスキルを身につける

【実施内容・方法】 日時・場所: 2022年9月25日 10時～15時 (岡山県総合グラウンドクラブ)
参加者: 78名(スタッフ18名)

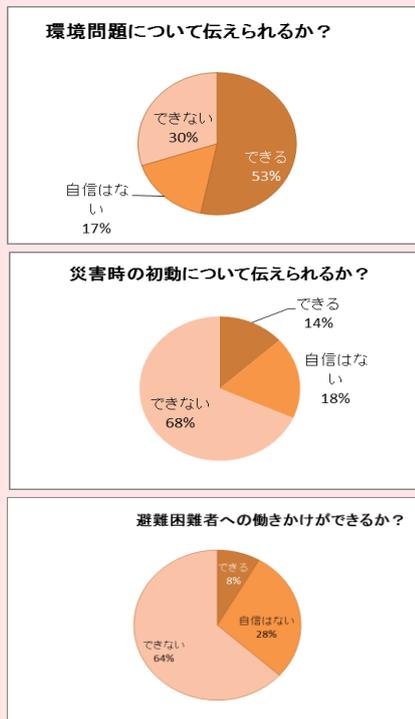
- ・コーナーA『ゴミ分別ゲーム』
ゴミの正しい分別方法をカードゲームを通して知りリサイクルできる物、廃棄する物を理解する。
- ・コーナーB『環境マーククイズ』
様々な環境マークが何を意味しているのか理解し購入時に環境に優しい製品の見分け方を知る。
- ・コーナーC『みんなで避難をやってみよう』
避難が困難な方と一緒に避難する上で留意することを知り、また実際に困難な体験をすることで、自分事として考えられるようにする。
- ・コーナーD『災害時家族とはぐれたら?』
災害時、家族とはぐれた場合、どう行動すればいいか、初動と何を準備しておけばいいか考える。
- ・コーナーE『環境と災害について』
カルタで災害と環境問題について関係性を知る



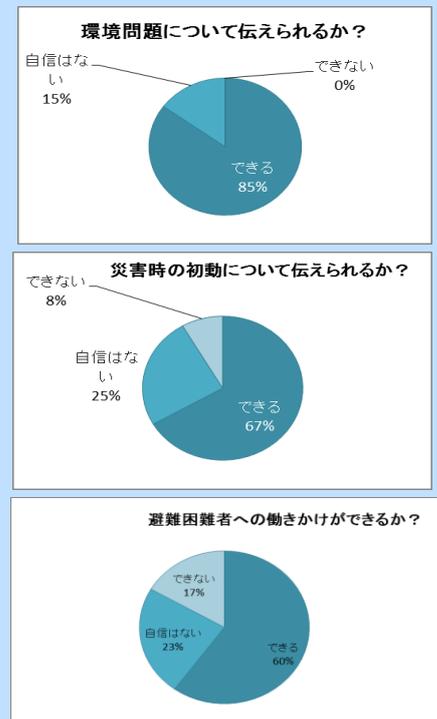
【成果・効果】

事前・事後のアンケート結果から右のグラフの通り、『伝えられる』との解答の割合が大幅にあがったことにより、環境や災害について理解しただけでなく、誰かに伝え、広めていく自信がついてものと考えられる。ガールスカウトでは特に、「シェアードリーダーシップ」や「ピアエディケーション」を重視しており、コーナー担当者が、参加者と年齢がそう変わらない中高生であることから、参加者自身も、コーナーの内容を肯定的に理解し、自分自身にも伝えたり、広めていく力がある、得意なところで能力を発揮できると実感し、自己肯定感が上がったことにより、伝える自信がついたものと考えられる。自己肯定感の向上、同年代のロールモデル、伝えられるという自信は、非認知能力の向上であると考えられる。

事前アンケート結果



事後アンケート結果



【改善点等】

- ・コーナーによっては、もう少し時間をかけて丁寧に行った方がより良い成果が得られるものもあったため、待ち時間が無いように計画したが、コーナーによって要する時間を変えてもよかったと思った。
- ・カルタのコーナーは、絵札を取ることに意識が向いてしまい、環境と災害の関係性についての説明を入れる時間があってもよかったと思った。